

令和4年度公衆衛生活動対策専門委員会

■ 日 時 令和5年1月26日（木） 午後3時～午後3時55分

■ 場 所 テレビ会議 鳥取県健康会館 鳥取市戎町

鳥取県中部医師会館 倉吉市旭田町

鳥取県西部医師会館 米子市久米町

■ 出席者 17人

〈鳥取県健康会館〉

渡辺健対協会長、岡田委員長、加藤・清水・山根・米本各委員

健対協事務局：岡本事務局長、岩垣次長、梅村主任、井上・廣瀬両主事

オブザーバー：萬井鳥取県福祉保健部健康政策課長

〈鳥取県中部医師会館〉平賀・深田両委員

〈鳥取県西部医師会館〉能勢・辻田・佐々木各委員

挨拶（要旨）

〈渡辺会長〉

本日はお忙しい中、また雪で足元の悪い中3会場にお集まりいただき感謝申し上げます。ご承知のようにコロナも4年目を迎え、第8波の勢いが弱まってきてはいるが、まだまだ感染者の多い状態が続き、高齢者の死亡者数が増え、新たなフェーズに入っている。折しも感染症の位置付けが2類から5類へ移行するということも公表され、地域医療あるいは地域の方々の健康維持のうえでも対応が求められるところである。

公衆衛生活動対策専門委員会は県民の幅広い方々へ地区医師会と協力して啓発を行いながら、健康増進あるいは疾病の予防について講演等を通して情報提供を行ってきたが、コロナの影響で公開健康講座も長らく開催できていない。今後の活動について、この場で振り返りと議論を行いたい。

〈岡田委員長〉

足元の悪い中、お集まりいただきありがとうございます。渡辺会長も述べられたように、本委員会の活動はコロナの影響を色濃く受けている。ご提案等はいただいているが、なかなか変革ができていないところである。よりよい形にしていきたいと思っているので、活発な議論をお願いしたい。

報 告

1. 令和3年度事業報告及び令和4年度事業中間報告

（1）健康教育事業：岡田委員長より説明

①日本海新聞健康コラム「保健の窓」は公開健康講座の講演内容について掲載しているが、令和3年度に引き続き令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響のため公開健康講座が中止となっており、掲載されていない。

②日本海新聞健康コラム「健康なんでも相談室鳥取県医師会Q&A」を、令和3年度は51回、令和4年度は1月現在31回掲載した。

一般の方から疾病に関する質問を受け付け、それに対する回答を掲載している。

10月からは名称が「健康相談室鳥取県医師会Q&A」となり、掲載も月2回に変更となっている。

③鳥取県医師会公開健康講座、生活習慣病対策セミナー

令和3年度に引き続き令和4年度も、毎月1回、鳥取県健康会館において鳥取県医師会公開健康講座を計画していたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止となっている。

また、鳥取県の委託事業である「生活習慣病対策セミナー」については年16回で、鳥取県医師会公開健康講座のうち7回を生活習慣病セミナーにあて、東中西の3地区においても3回ずつ同様のセミナーを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染の影響で、令和3年度は鳥取県西部医師会の2回開催のみであった。令和4年度も1月現在、鳥取県西部医師会が2回開催している。

(2) 地域保健対策：岡田委員長より報告

令和2年度から、鳥大医学部環境予防医学分野尾崎米厚教授を中心に、鳥取県においては予防、検診から治療まで様々ながん対策に取り組まれているものの、全国に比較して罹患率が高い状況が続いているため、鳥取県特有のがんリスク要因の究明を目的として、5つのがん（胃、肺、乳、肝、膵）を対象とした「鳥取県がん症例対照研究」を行っている。県内のがん患者及び健常者に対するアンケート調査を実施し、がん予防に活用できる知見を得るための分析を行っている。

2021年度末時点で、症例群は57例であり、まだ少ないので、部位別症例数が最も多かった乳がん(30例)についての解析を実施した。

症例数が少なく暫定的な結果ではあるが、候補となる危険因子は、乳腺炎の既往、醤油やソースを高頻度でかけることが比較的共通の要因であり、予防因子はお酒の飲み始め頃に顔が赤くなら

ないことが関係していた。

乳腺炎の既往は、がん以外の乳房疾患があれば、がんが見つかりやすい可能性が示唆される。食生活に関する要因は、連続変数として解析したため、再度詳細に分析する必要がある。

今後、症例数を増やし、再度解析および各部位の解析を実施する予定である

(3) 生活習慣病対策事業

①地区における健康教育

〈東部医師会（加藤委員）〉

1. 救急医療講習会は令和3、4年度中止となった。
2. 鳥取市民健康ひろばによる健康相談は、令和3、4年度中止となった。
3. 東部医師会健康スポーツ講演会を令和3年9月24日と4年3月4日に開催した。また、令和5年3月2日にも開催予定。
4. 各会員による健康教育講演は、令和3年度は23回、令和4年度は12月末で12回行われている。新型コロナウイルス感染症の影響で公民館は取りやめが多かったが、感染防止が取りやすい小・中学校、保健センターで行われている。

〈中部医師会（深田委員）〉

1. 「住民健康フォーラム」は令和3年度は中止となった。令和4年度は10月2日に倉吉保健所長の平賀先生に「新型コロナと保健所の対応」、鳥取看護大学の荒川教授に「パンデミックの経験を生活の知恵に活かす」としてご講演いただいた。会場は倉吉福祉センターで開催し、参加者は22名であった。
2. 各会員による健康教育講演は、令和3年度は33回、令和4年度は12月現在で5回行われている。がん予防の話や、学校での喫煙防止教育を中心に行っている。

〈西部医師会（佐々木委員）〉

1. 健康教育講座を令和3年度は米子市内の

公民館で15回、境港市で2回行った。令和4年度は12月現在で米子市内の公民館等で9回、境港市で1回行った。

2. 毎月第3木曜日に米子市文化ホールで「一般公開健康講座」を計画していたが、令和3年度、令和4年度は中止している。対面での講演ができないので、10分程度の講演動画をYouTubeに公開している。

3. 各会員による健康教育講演は、令和3年度は18回行った。

4. 中海テレビで医師の出演による「健康ぶらざ（5分番組）」が放送されている。

令和3年度に引き続き、令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響により、講演等の中止が相次いだ。

②健康医療相談

鳥取県健康会館において、面談による健康医療相談を毎月第1～4木曜日に行っている。第1木曜日は精神科、第2及び第4木曜日は内科、第3木曜日は整形外科で実施している。

令和3年度は7件、令和4年度は1月現在で10件の相談があった。

協 議

1. がん検診受診勧奨・県民向け啓発動画について（萬井健康政策課長より説明）

令和5年度までに全がん検診受診率50%にする

目標を立て、がん検診受診率向上の施策を行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響により受診控えも見られ、受診率が低下している。そこで令和2年度に作成した受診勧奨動画を、健対協の公衆衛生活動対策費の予算で、令和5年2月からケーブルテレビで全县に放送することが承認された。

2. 令和5年度事業計画（案）：

岡田委員長より説明

（1）健康教育事业

- ①日本海新聞健康コラム「保健の窓」を年間25回掲載続行予定。
- ②日本海新聞健康コラム「健康相談室鳥取県医師会Q&A」を木曜日（月2回）に掲載続行予定。
- ③鳥取県医師会公開健康講座、生活習慣病対策セミナー継続開催。鳥取県医師会公開健康講座は新型コロナウイルス感染症が5月に5類になった後、状況をみながら開催する予定である。

（2）地域保健対策

「鳥取県がん症例対照研究」を継続実施。

（3）生活習慣病対策事業

地区医師会の健康教育、健康医療相談を継続実施。